

商業

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
商業	ビジネス情報	2単位	3年次・H1群	選択

目 標		履修の条件・連絡			
1 情報通信ネットワークやソフトウェアの活用に関する知識と技術を学習します 2 情報を効率的に処理する技術を学習します。 3 ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用することを学習します。 4 情報処理検定試験1級の取得。		・情報処理に興味関心のある者。 ・販売職、事務職を希望する者。 ・商業の推薦を利用して大学の経済学部・経営学部・商学部等への進学を希望、コンピュータ関係の専門学校への進学を希望する者。 ・資格取得を目指す者			
使用教科書 (出版社)	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)	副教材 (準備物)	全商情報処理検定模擬試験問題集 1級 ビジネス情報部門		
学 習 の 年 間 計 画	期 月	学習内容 (単元・項目)	学 習 の ね ら い		
	1 4月	1. ビジネスと情報 (1)情報化社会とビジネス	・企業の経営活動における情報の意義や役割について学習します。 ・コンピュータの仕組みやソフトウェアなどに関する知識を学習します。 ・情報を利用するルールやセキュリティ管理の方法を学習します。 ・表計算ソフト (Microsoft Excel) を操作して、表の作成や計算、グラフの作成が行えるようにします。 ~ 重要 ~ (必ず読んでください) ・学習の年間計画はあくまで予定です。情報処理を受講する生徒の能力、使用できる施設等によって変更することがあります。		
	5月	(2)ネットワークとビジネス			
	6月	2. 情報通信ネットワークの活用 (1)ネットワークの基礎 (2)ネットワークの構築と管理 (3)サーバ管理 (4)セキュリティ管理			
7月					
2 9月	3. 表計算ソフトウェアの活用 (1)集計処理 (2)オペレーションズリサーチの基礎 (3)ビジネス計算 (4)手続きの自動化	・第2章で学んだことを確実にできるようにします。 ・情報をデータベース化して管理・活用することの意味を学びデータベースソフトを利用したデータベースの作成方法を学習します。 ・第3章で学んだことを確実にできるようにします。 ・情報通信ネットワークの役割や概要について学習します。 ・インターネットを利用して、情報を検索・収集・処理する方法を学習します。			
10月	(1)ビジネス情報とデータベース (2)データベースの利用 (3)SQLの操作				
11月					
12月					
3 1月	総合演習 (検定試験の過去問題を解く)	・全商情報処理検定試験1級の合格に向けて学習します。 ・学習の内容に疑問等がある場合は、本館2階総合実践室に質問に来てください。			
2月	総合演習 (これまでに学習した内容を基にいろいろな問題をします。)				
3月					
学 習 評 価	観 点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	規 準	ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用し、将来、職場における情報活用のリーダーとなる意欲と態度を持っている。	適切な手段を用いて情報を収集・処理し、要求に応じた適切なシステム開発の要件を整理するなどの思考・判断力・表現力を身に付けている。	ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析手法、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身に付けている。	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身に付けている。
	手 段	・授業中の態度の観察・提出物の提出状況	・授業中の質問に対する応答、定期考査 ・検定試験	・実習の内容と結果	・定期考査、実習 ・検定試験
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	・考査は年3回実施。各回とも考査点70%、平常点30%で成績を評価する。 ・平常点は、授業態度、提出物の状況、検定試験の結果による。			
学習上の 留意点	・授業の進度が速いので、毎時間の授業を大切に学習しましょう。 ・新しく学習し、実習が多い科目です。欠席すると授業についていけなくなります。 ・9月、1月(全商)の検定試験で情報処理検定1級の合格を目指します。 ・検定試験代、諸費等で年間3,000円程度必要です。				